

鈴小 ◆ だより

伊丹市立鈴原小学校

令和8年1月16日号



1995.1.17 阪神淡路大震災から31年

阪神淡路大震災から30年が過ぎ、31年目に入ろうとしています。

学校では毎年この時期に地震避難訓練を実施するとともに、各学級で地震について事前・事後指導をしています。事前指導では、教材を利用しながら地震の被害を知ったり、避難の仕方について学んだりしています。学校では、揺れを感じたら机の下に身体を隠して揺れがおさまるのを待ち、放送や教師の指示をしっかりと聞き、安全に気をつけて運動場に避難することになっています。今日は、その学習を活かしながら、避難訓練に取り組みました。全員が運動場に集合するまでにかかった時間は4分45秒。「おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない」を実践しながら、素早く避難することができました。避難訓練の最後には、阪神淡路大震災で亡くなった方々への追悼の気持ちを込めて、全校生で「しあわせ運べるように」を歌いました。



地震に対する防災教育は、授業の中だけで行われているわけではありません。1月15日の給食は「防災献立」でした。「いつ、どこで起こるか分からない災害に備えて、災害時の食事や非常食について考えてみよう」と栄養士さんたちが考えてくれた献立です。長期間保存できる防災用のレトルト食品「救給カレーライス」、災害時でもそのまま食べることができ、不足しがちな栄養素の補給ができる「チーズ」と「みかん」、避難所の炊き出しメニュー「たきだしじる」でした。



ご家庭でも防災について考える機会を・・・！

明日で阪神淡路大震災から丸30年。保護者の方の中にも、震災を経験されていない方や経験はしたけれど記憶には残っていない方が増えてきています。1月17日には、ニュースなどで当時の様子が報道されることも多いので、これを機会にご家族で震災について学んだり、考えたりしてみてもはどうでしょうか？

災害は子どもたちが学校にいる時に起こるとは限りません。お家でご家族と過ごしている時には、どのように行動しますか？ 保護者の方と子どもたちが別々に行動している時に起こったら、子どもたちはどう行動したらいいのでしょうか？ 各ご家庭でも防災についてぜひ考えてみてください。

こんな時、どうする？

- ・家族がバラバラ。家は被害にあい、入れない状態。そんな時、家族はどこで合流するの？
…例えば「鈴原小学校に集合」と約束していても、学校は大勢の人が集まります。「鈴原小学校のジャングルジムの所」など、細かく決めておくといいですよ。
- ・家族そろって避難します。何を持って、避難したらいいの？
…避難用リュックはありますか？ どこに置いているのか、だれが何を持つのかなど、決まっていると素早く避難できますね。